



新潟総鎮守

白山神社

御祭神

主神

菊理媛大神
くきりひめのおおかみ

伊弉諾大神
いざなののおおかみ

伊弉册大神
いざのみのおおかみ

配祀神

天照皇大神
あまてらすのおおかみ

八幡大神
はちまんののおおかみ

合祀神

稻荷大神
いなりののおおかみ

出雲大神
いづもののおおかみ

香取鹿島大神
かとりかしまのおおかみ

金刀比羅大神
ことひらののおおかみ

松尾大神
まつおののおおかみ

天満天神
てんまんのじん

住吉大神
すまじのおおかみ

三峰大神
みつみねのおおかみ

春日大神
かすがのおおかみ

淡島大神
あわしまのおおかみ



白山神社のいわれ

主神の菊理媛大神は別名を、白山ひめと言われ、加賀（石川県）の白山頂上に祀られている女神で、この神様を勧請して新潟の地に祀ったものです。白山神社の建立の年代は永祿（二五五八）、天正（一五七三）の二度の火災で旧記を失い知ることはできませんが、延喜（九〇一）とも寛治（一〇八七）ともいわれています。しかし、元龜年中（一五七〇）に、白山神社別当だった宝亀院住職の憲海が五寸の十一面観音銅像、宝剣、鏡を白山神社に安置したことが記録に残っています。戦国時代には、上杉景勝が戦勝の帰途に鏡と啓を寄進、当時すでに大社であったことがわかります。長岡藩治下においては、藩主牧野氏の崇敬するところとなつて社参神拝が相次ぎました。

明治以前は神仏混交の時代であつたため十一面観音を本持仏とし、大般若の転読、護摩の修法が盛んでしたが、明治元年の神仏混交の禁により十

一面観音は宝亀院に引き渡され、今もあります。明治六年、政府が公園設置の布達を出すと、公園を造るため、松林の境内に点々と建立してあつた摂社、末社を全部御本殿に合祀したため、ご祭神が多いのです。

人生の儀礼

●安産祈願

昔から懐妊五ヶ月目には着帯の儀が行われてきました。その由緒により当神社ではお子様の無事安産をねがい、玉串奉典した後、安産守護（おまもり）をお授けしております。

●初宮詣

お子様のご誕生より七日目にお七夜の祝いをして命名して、生後一カ月たつと初めて、鎮守白山神社にお宮参りに行き無事生れたことを感謝し益々の健康をお祈りします。

●七五三詣

古くは男女三歳で髪置、男子五歳で袴着、女子七歳で紐解等のお祝いの儀を行いました。今日では、七歳五歳三歳に相当するお子様をつれて、十一月十

五日に晴着で身を清め参拝し、今後の生育をお祈りします。

●成人式

古くは男子の元服、女子の裳着などでした。昭和二十三年に一月十五日が成人の日と定められた時から、満二十歳になった男女を成人として祝い励まし、自覚を強め、よい社会人となるよう祈願しています。

●還暦祝

男女数え年六十一歳を祝う古くからの儀礼です。十干、十二支の組み合わせが六十年目毎にもとに還るので、本卦がえりとも第二の誕生日を迎えるともいいます。また若々しく第一歩を踏み出そうという意味も込められています。

●結婚式

結婚は新しい人生への門出を祝う厳粛で喜びに満ちた儀礼です。

お二人が結ばれたご神恵を感謝し、末永く幸福な

家庭を保ち、併せてご両家が共に平和であり繁栄をもたらすようお願いいたします。



成

就

半年詣り

(はんとしまいり)〈大祓〉

■六月三十日

六月大祓で人形を浄火で焚きあげ、のこる半年間の無事息災を祈ります。

白山祭

(なつまつり)〈例大祭〉

■七月十二日～七月十八日

当神社が鎮座された最も意味深い祭として、十五日には例大祭が盛大に繰り広げられます。

住吉祭

〈新潟まつり〉

■八月七日・八日・九日

住吉大神の大祭。神輿が市内を練り歩き、夜は華やかな花火大会が催されます。

鎮火祭

〈防火祈願祭〉

■十月一日

新潟大火（昭和三十年十月一日）の由縁の日に防火祈願祭を行うものです。

秋祭

(あきまつり)〈産業感謝祭〉

■十月十二日～十八日

毎年、農家の方より新穀が、漁業を営まれる方からは海の幸、又野菜や果物等も奉納され共に収穫を感謝し喜び合う祭ります。

七五三祝祭

(しちごさんいわいまつり)

■十一月十五日

七五三を迎えた子供達の無病息災を祈り、千歳飴、破魔矢、守り札が授与されます。

除夜祭・二年詣り

(じょやさいにねんまいり)

■十二月三十一日

年の終わり、年の初めの二年を一日で参拝し諸願を祈ります。例年、数万人の人出で賑わいます。

新潟まつり

住吉祭(すみよしまつり)

そろいの浴衣で新潟市の目抜き通りを踊り歩く新潟まつり。新潟甚句、佐渡おけさと交互に繰り返される大民謡流しは、踊る人も見る人も興奮のうずへ誘います。さて、毎年盛大に行われる新潟まつりは、もともと四つの祭り（住吉祭・川開き・商工祭り・開港記念祭）がひとつになったもの。

そのひとつ、住吉祭は平安絵巻を紐解いたような、古式ゆかしい住吉行列が祭りの伝統を伝えています。平安時代の衣装を身にまとった、一キロにも及ぶ行列は、見る人を魅了し

てやみません。また、何百年もの間、新潟の経済を支えてきた信濃川では歴史を物語る水上渡御が行われます。そして、フィナーレは技巧・美しさ・規模において全国一とうたわれるほどの花火大会。新潟まつりは、良き伝統に新しさが同居する祭りです。



水上渡御



半年詣り



夏祭



除夜祭・二年詣り



花火大会



住吉行列

諸

願



祭事記

白山神社の主な年中行事

おついたちまいり

■毎月一日

月次祭（月ごとに行われる神事）が行われ、特別祈禱を厳修。

初詣

（はつもうで）

■一月一日 歳旦祭（さいたんさい）

元旦の祭典で、天下泰平・国家安泰を祈ります。社頭では開運破魔矢・絵馬・熊手などが頒布されます。

開運厄除大祭

（かいうんやくよけたいさい）

■二月一日～三月末日

厄年に当たる人の開運厄除が行われます。（男二十五歳、四十二歳／女十九歳、三十三歳で数え年）

入学（勸学）祭

（にゅうがく・かんがくさい）

■四月一日～四月七日

進学、入学する子供達の学徳成就、身体健全を合祀天満天神に祈る祭礼。

春祭

（はるまつり）
〈産業繁栄祈願祭〉

■四月十二日～四月十八日

昔は三月に行われ、芸妓が衣裳を競うなどして春祭を祝いました。今は商工漁など産業繁栄祈願祭も行われ、様々な催しもので賑わいます。

鎮花祭

（はなしずめのまつり）

■四月十八日

過ごしやすい春は気がゆるみ病気になるがちです。鎮花祭はこれを戒め、無病息災を祈る祭りです。

蛇松明神大祭

（じゃまつみょうじんたいさい）

■五月十八日

本殿裏手の老松、諸願成就の蛇松明神の大祭。已成金の信仰で、蛇の絵馬を献納する人が多い。



初詣



百人道祭



春祭



◀「大船絵馬」、新潟湊における御城米積み込みの風景を描いた絵馬額。筆者は新潟の画家井上文昌、願主は千石船40艘を所有して蔵米回運に当たった北蒲原郡の豪家市島次郎吉正光。県指定民俗資料。(縦185cm×横360cm)



◀錦絵「新潟芸妓白山参詣図」の木版。人物を国周がかき、風景は三代広重がかいたもので、三月春祭に新潟芸妓が参詣している光景が描かれています。

▼「絵馬」、狩野派の始祖、室町時代の画家、狩野法眼元信(1476～1559)の筆による野馬の図。(縦140cm×横190cm)



▼神宝、伊勢神宮より賜った皇大神宮別宮(伊邪奈岐宮)銅造御太刀



由緒正しい婚礼の儀

長い歴史と伝統

白山神社の結婚式場 白山会館

挙式

木の香もかぐわしい総ひのきづくりの儀式殿。荘厳な雅楽の調べが奏でられるなかでくりひろげられる婚礼の儀。千年の歴史の流れをくむと伝えられる伝統的式風。白山会館ならではの細やかな心配りで、とどこおりなく挙行いたします。



白山会館儀式殿

披露宴

喜びあふれる感動をドラマチックに演出する披露宴。あたたかい拍手、華やいた雰囲気の中にも、静粛さがたがいます。白山会館では、多くの体験を生かし、いつまでも新鮮な思い出となるよう演出するプランをご用意しています。



大平明浄の間



各種ご会合などにもお気軽にご利用ください。真心のサービスでおもてなします。

●**喫茶はくさん**：ご商談やお待ち合せまた会議のあとの心安らぐ場所としても最適です。喫茶はくさんのメニューは白山会館各室、ロビーまでお届け致します。営業時間：午前8時～午後6時 年中無休

●**和食堂白山**：ランチタイムは和食堂白山をご利用ください。和定食や松花堂弁当など白山会館ならではの本格的な和食をお手軽にご賞味いただけます。和食堂白山 営業時間：午前11時半～午後1時半（祝祭日を除く月曜から金曜まで営業）

お茶席・各種展示会、生花・書道の発表会など白山会館は多目的にご利用いただけます。



おちつきある和室、華やかな洋室。ご人数・用途に応じた大小11の会場です。

白山神社総合結婚式場



白山会館

新潟市一番堀通町1の1 ☎(025)228-2977

白山信仰の霊場

はくさんさま

はくさんさま

白山神社は、主神たる菊理媛大神（くくりひめのおおかみ）が、元亀年中に法印恵海（いんかい）に神託し、宝鏡宝剣、宝玉と、そして五寸の十一面観音の神宝を与へられてから、この新潟の鎮守として、神威が聞えるようになりまし

た。
鏡は知恵と清明神通の相をしめし、剣は慈悲、勇氣、決断をあらはし、玉は正直、仁恩淳和の相をしめし十一面観音は仏徳をあらはしています。慈悲の心、正直な氣持、勇氣ある決断は白山さまのみ心であり、人として生くべき道をお教へになったのです。

流れ絶ゆせぬ信濃川の一孤島であつた白山島も、白山信仰が増すにつれて、人々が移り住み、今の新潟市が白山神社を中心にして発展してゆきました。港を出る舟も、信濃川を上下する舟人も、白山の松や燈籠（とうろう）の灯が、どんなに心の頼みであつたでしょう。

人々から親しまれ、頼みとされる白山神社は、参詣の人も絶えず信仰の中心となつてゐるのです。



入れ、男神の詔う事を女神に聞入れた功により負う名で「聞入れ」の神であるという事であります。
(平田篤胤)

いつでも、どこでも、あなたが正しく願うまことの声を聞かれると、直ちに「聞入れ」すぐに一ばんよい方法で、あなたをお救い下さる神様であります。

白山さまに祈れば

救われますか？

考えてみれば、人間とは一寸先は闇であります。力の足らぬものであり、いはば周囲は不安に満ちています。「どうしたらいいか」と迷ふ事も多く、又「こうしてほしい、いやどうかこうしてくださ

い心をもたないことであります。

白山さまをおがむには どうしたらよいでしょう？

第一に心は一心になる事です。神道では一心不乱は心の清浄であるとも申します。おがむ事は神様に帰一し、御力添いを頂くためですから、清浄にして頂くために

「穢い給へ清め給へ」

感謝の意を表すために

「有難うございます」……「大神、大神、稜威輝く尊しや」

祈願の意を表すために

「御力をお授け下さい」……「大神、大神、守り給へ 幸へ給へ」

と唱へて下さい。神明は常に照覧し給うのです。

白山神社講社入講のすすめ

敬神講 新潟市に住む当社の氏子区域に居住して当社を崇敬する人たちの組織する講社でありまして、御神徳昂揚奉賛に力を入れて居ります。入講をおすすめていたします。

白山講 白山大神様の御神徳をいただき、神の御心である生活の向上、発展を願いとすると共に信仰深い方々の集いとして結集されている講であります。

簡単に入講できますから受付へおいで下さい。

太々講 太々神楽を奉奏し祈願をする講で、二十五名を一座と致します。

いつでも申込をうけつけます。

参拝の作法

先づ手を清め 口をすすぎ 鈴を振つて

二拝 次に 祓詞 次に 神拝詞を奏上 次に

二拝 二拍手 一拝する

白山神社の主なる年中行事

毎月一日 おつたちまいり

月次祭を行い、特別祈禱を厳修

一月一日 歳旦祭

年の始めの祭典で天下泰平、郷閭安泰を祈ります。

二月一日・三月末日 開運厄除大祭 厄年に当る人々の開運厄除大祈禱を厳修し、災厄消

除、安全を祈願 破魔矢が授与されます。

四月一日・四月七日 入学（勸学）祭 初めて学校に入る人達の学徳成就、身体安全を

合祀天満大神に祈る祭。

四月十二日・四月十八日 春祭（産業繁栄祈願祭）

昔は三月に行はれ、町中挙げて春祭を祝い、芸妓が衣裳を競つて参詣しました。今は商工漁など産業繁栄祈願祭も行はれ、種々の催しもあり終日参詣でいっぱい。

四月十八日 花鎮祭 疫病のなからん事を祈る祭。

五月十八日 蛇松明神大祭

己成金 諸願成就の蛇松明神の大祭。蛇の絵馬を献納する人が多い。

六月三十日 半年詣り（大はらい）

六月大祓で人形を浄火で焚きあげ半年の無事を祈る。

七月十二日・七月十八日 白山祭（例大祭）

当神社が鎮座になった最も由緒の深い祭で、十五日には、例大祭が行はれ、近在近郷よりの参詣で賑う。

八月八日・九日 住吉祭（新潟まつり）

当社合祀の住吉大神の大祭・神輿が町中を練り歩き、夜は花火で賑います。

十月一日 鎮火祭（防火祈願祭）新潟大火の由縁の日に防火祈願祭を行う。

十月十二日・十八日 秋祭（産業感謝祭）

秋の収穫を感謝する祭で、敬老延寿祭、太々神楽が奏される。

十二月三十一日 除夜祭 二年詣り

年の終り、年の始めの二年を一日に参詣する人数万人も参詣。

白山信仰の集い

おつたちまいり

毎月一日にお詣りをし神社よりおはらいを受け心願成就を祈願する会。一年十二回にて満願。十年二十年と続けている人も多い。

月次まいり会（お三日詣り会）

毎月一日、十五日、二十八日の三日間朝八時に参拝し、御祈禱を受け、心願成就を祈る会。年三十六回にて満願。

月まいり会

毎月一日、午後六時に参集して鎮魂、伊吹、神拝をして夕食をいただく会

朝詣り会

毎月十三日朝七時に参集して鎮魂、伊吹、神拝をして朝食をいただく会。

蛇松明神

当社本殿裏手に老松あつて、人、これを蛇松明神という。信者多数あり、信心すれば心願成就するという。巳の信仰は、己成金の信仰、延命除災の霊蹟あり。毎月十八日を縁日とす。蛇松の神玩あり。蛇松絵馬に心願の趣きを書き念じて奉献すれば心願成就するといわれる。

黄竜神社

春日、松尾社
神社西北にあつて、地主の神を祀る。
春日松尾社は、合祀神を分祀してまつり醸造関係の信者が多い。

新潟総鎮守 白山神社

新潟市一番掘通町一の一番地
電話 三八一一九六三番
振替（新潟）七―四五六番
郵便番号 九五一―八一三二

御祈禱の御案内

白山神社では左記により、交通安全・家内安全・生業繁栄はもとより、旅行安全・開運招福・厄除け・入学・入試合格・就職・良縁・結婚・安産などの成就・初宮詣・虫封じ・病氣平癒・建築・移転の方除け・等々、諸諸の祈願は毎日午前九時から午後四時四十分までの受付にて巫女神楽を奉奏し御祈禱を厳修しております。

記

種 類	祈 禱 料
小 祈 禱	五 円 以 上
普 通 祈 禱	七 円 以 上
特 別 祈 禱	壹 萬 円 以 上



祈禱巫女神楽

尚御遠方の方や、御都合でお詣り出来かねる方のためには「依頼祈禱」によつて御祈禱を厳修し、神札を郵送いたしますから、住所・生年月日・願意を詳しく記し、祈禱料を添えてお申し込み下さい。